



# 篆書林

## 呉讓之「宋武帝與臧燾敕」

### ●呉讓之(ごじょうし)

清・嘉慶4-同治9(1799年-1870年・72歳) 初め名を廷颺(ていよう)、字を熙載(きさい)といったが、後字を名とし讓之(じょうし)とした。さらに穆宗(同治帝)の名を敬避して、六四歳以後専ら讓之と称した。別に言庵、晩学居士と号し、堂号を師慎軒といった。江蘇儀徵の人。(東京堂出版『書道辞典』より)

この篆書について松丸東魚(1901年-1975年)は「私が見た呉讓之の最もすぐれた作と考えて居り、しかも篆書の基本的な手本として適当なものと思う」と評している。

呉讓之「宋武帝與臧燾敕」の収載本としては、1、『呉讓之篆書冊』昭和33年7月発行 白紅社、2、『清人篆書三種』昭和51年10月発行 二玄社、3、『呉讓之宋武帝勅』平成9年6月発行 雄山閣などがある。

※『楽篆』では篆書の筆順・筆路や書く時のチェックポイントが分かる「らくらく篆書コース」を設けて、臨書を中心に作品を受付け(『楽篆』の年間購読者対象)、全作品に「楽篆評価」をしております。詳しくは『楽篆』篆書コース係へお問い合わせください。

篆刻ひとすじ

『楽篆』三圭社

東京都大田区北千束2-17-13 〒145-0062

TEL:03-3729-2855 FAX:03-3729-9269

Email:maro@sankeisha.co.jp

尚

儂

儂

學

離

彌

頹

穰

門

業

進

衡

風

内

輟

清

由

響

戎

良

車

敬

屢

禮

息

樂

浮

中

志

亦

情

近

染豈

與事

豈

染

雙

可

崇

不

激

文

勵

籍

此

風

竟

尚

早

仄

姓

士

知 如

如 林

想

齊

聞

動

焚

命

荆

軌

寶

玉

寶

玉

瑩

錫

幽

開

馨

蘭

華

陳

發

扇

獨

資

陪

學

義

寡

箸

箸

今

周

不

經

遠

師

業

而

齊

赴

降

聞

非

惟

豐

豐

或

或

未

是

未

是

想

至

復

邪

鳳

熙載



並